



1996-97年度 RI テーマ

Luis B. Jai
 ルイス・ビセン・ジアイ
 1996-97 RI 会長

■■■ 築け未来を 行動力と先見の眼で ■■■

第2560地区 — 吉田 昭 平
 ガバナー — 吉田 昭 平
 会 長 — 捧 賢 一
 会長エレクト — 五十嵐 総 一
 副 会 長 — 細 井 増 雄
 幹 事 — 五十嵐 昭 一
 副 幹 事 — 佐 野 勝 栄
 S A A — 菊 池 涉
 副 S A A — 山 浦 日出夫

例 会 日 — 毎週水曜日 12:30 ~
 例会場及び — 三条市旭町 2-5-10
 事 務 局 — 三条信用金庫本店内
 例 会 場 — TEL 35-3311
 事 務 局 — TEL 35-3477
 FAX 32-7095

| | |
|---------|----------|
| 本日出席会員数 | 77名中 58名 |
| 先々週出席率 | 94.59 % |

ヴィジター

三条北より 梨本清一さん

先週のメイクアップ

11/1 吉田へ 加藤紋次郎さん

11/7 ローターアクトへ

吉井俊介さん、丸山行彦さん、
 佐藤吉平さん

11/11 三条南へ

古沢富雄さん、五十嵐晋三さん、
 樺山 仁さん、林 光輝さん、
 三堀正純さん
 渋谷秀幸さん

11/12 三条北へ 藤田紘一さん

会長挨拶

捧 賢一会長

第2次組閣が行われました、橋本内閣は行政改革を強い決意で望んでいるそうです。日本経済の停滞の為、税収が落ちています。とてもこのままではやってゆけないでしょう。先日、新潟経済同友会も県知事宛に行政改革についての意見書を提出し、大きくは4つの提案をしてまいりました。

1つは、行政運営に経済性の観点を見失ってはいけないということです。公共施設があるのに活用されない、また統合もされないままではいけないということです。

2つめは、縦割り行政からの脱却とプロジェクト組織の活用についてです。セクショナリズムを背景にした権力の拡大と組織の肥大を防止する必要があります。

3つめは、公務員にもコスト意識、競争の原理導入についてです。県の職員は、公務員の三ナイ主義「遅れず、休まず、働かず」で「大過なく」人生を送れるともいわれ、仕事に関係なく給料が貰えるという賃金制度で、民間から見るとある意味で悪平等なシステムともいえます。人員配置を考え、一人当たりの生産性をあげる必要があると思います。

4つめは、厳格な人員管理と人材の適正な配置についてです。適材適所に人員を配置し、組織の硬直化を招くことがないような人事政策の展開が必要であるの

ではないでしょうか。

今、日本の経済は停滞し、産業も空洞化が進んでおります。日本の周りのアジアの諸国には、優秀な人がいます。しかも、仕事がないので募集すると沢山集まってきます。そのうえ、賃金は日本の十分の一、建物、ソフト、仕組み等と作ってみても世界的には競争できなくなっています。日本独自のものをつくってゆかなくてはいけないのでしょうか。これからますます産業は大変になってゆくでしょう。

国、県だけの問題ではなくて企業も同じことがいえるのではないのでしょうか。

幹事報告

五十嵐(昭)幹事

◎12月10日 三クラブ合同例会です。

三条RC12月11日が12月10日に
12月11日(水)の振替

◎吉田昭平ガバナーより

公式訪問お礼状がとどいております。

◎太田RCより

創立40周年記念式典のご案内がとどいております。

と き 平成9年2月23日(日)

PM2:30~

ところ ソシアルプラザ

ふじや会館

◎米山記念奨学会より

米山功労クラブ表彰品がとどいております。

ニコニコBOX



名誉会員 内山裕一さん

先日、思いがけなく結婚記念のお花を頂いて大変喜んでいました。(広岡が預かって来ました)

金澤興宗さん

孫が生まれて九州に行ってきました。ついにおじいちゃんになりました。都合により早退します。

古澤富雄さん

過日「日中友好の翼」で150名の市民の皆さんと鄂州市他へ行ってきました。久しぶりのホームクラブ出席です。

高橋政志さん

久しぶりのホームクラブ出席です。中国では古澤さん、小柳さん。貿振では五十嵐力さん、高橋一夫さん、斎藤弘文さん、お世話になり有難うございました。

山田富義さん

ボックスに協力。

渡辺勝利さん

ホームクラブの出席が少なく恐縮しています。久しぶりの出席です。

高森章仁さん

BOXに入れると鼻カゼが治るかと思ひまして。

菊池 涉さん

お取越もおわり、これからは春彼岸までは日本酒をいただきます。季節感のなくなりつつある今日、せめて、アル

コールだけでも季節感を大切にしようと思います。

平原信行さん

五十嵐ロータリー財団委員長卓話ごろうさまです。一人でも多くのポールハリスフェローが出ますことを……。

佐藤 武さん、杉野奎司さん、丸山行彦さん、小柳直人さん

都合により早退させていただきます。

11月13日分

¥22,000



五十嵐 力 会員



11月はロータリー財団月間。

今年度ロータリー財団委員長として、会員の皆様に財団についてご理解とご協力をお願いいたします。

ロータリー財団は1917年（大正6年）のアトランタ国際大会で基金として発足し、1928年（昭和3年）のミネアポリス国際大会でロータリー財団と名付けられた。1931年（昭和6年）に信託組織となり、1983年（昭和58年）に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となった。

ロータリー財団の目標は博愛、慈善、教育または人道的という特質をもつ、明確かつ効果的なプログラムの促進を通じて、さまざまな国の国民の間に理解と友好的関係を助長することである。

毎年11月がロータリー財団月間。

ロータリー財団の使命は、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援するこ

とである。

以上が11月号ロータリーの友2頁に載っている。

今年度第2560地区吉田ガバナーの財団目標額は「年次寄付」50万ドル（約5,500万円）「恒久寄付」3万ドル（約330万円）合計53万ドル（約5,830万円）と設定された。

これは地区ロータリアンの8.8%約9%のポールハリス、フェロー（1,000ドル寄付者）500人誕生で目標達成される。

当三条クラブ77会員中7人の新フェロー誕生を目標に会員皆様のご協力をお願いいたします。

当クラブは創立40周年を迎え、記念誌を作成中であります。その中にポールハリスフェローと米山功労者の氏名を記載することになっております。

折角の機会ですので、ご理解を頂き、ご協力を是非お願い申し上げます。

なお、印刷の都合もありますので、12月末迄に申し込み下さい。

●ロータリー財団のプログラム

1.人道的プログラム

- ① 同額補助金
- ② 保健、飢餓追放、人間性尊重 (3H) 補助金
- ③ ロータリー・ボランティア補助金
- ④ ポリオ・プラス
- ⑤ その他 (カール・ミラー助成金、平和プログラム)

2.文化交流プログラム

- ① 研究グループ交換 (GSE)

3.教育的プログラム

- ① 国際親善奨学金
- ② 開発途上国で奉仕する大学教員のための補助金
- ③ 他の地区への寄贈 ※ジャパン国際親善奨学金

ロータリー財団表彰制度

年次寄付

- ★ ポール・ハリス・フェロー 1,000ドルの寄付者
- ★ マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 1,000ドルの追加寄付者
- ★ ポール・ハリス・準フェロー 100ドル分納の寄付者
- ★ 大口寄付者表彰 10,000ドル以上の寄付者

恒久寄付

- ★ ベネファクター 基金に1,000ドル以上の無条件寄付者
・寄付を資産計画に書き残して財団に通知した人

シェア・システム

国際財団活動資金 (W.F)

- ① 研究グループ交換
- ② 3-H補助金
- ③ 同額補助金
- ④ ロータリー・ボランティア補助金
- ⑤ その他

40%

年次寄付 (一般寄付)

60%

地区財団活動資金 (D.D.F)

- ① 国際親善奨学金
- ② 研究グループ交換 (追加分)
- ③ 人道的プログラム (同額補助金等)
- ④ 他地区への寄贈 (ジャパンプログラム等)
- ⑤ その他

1997-98久保田年度ロータリー財団国際親善奨学生

| | | |
|-----------------------------|-----|-----|
| ■ 1学年度 | 👤 | 10名 |
| ■ マルチ・イヤー (2年留学) ... | 👤👤👤 | 4名 |
| ■ 文化研修 (3カ月) | 👤 | 1名 |
| ■ 他地区への寄贈 (ジャパンプログラム) | 👤 | 1名 |

● 1994-95大島寄付年度のD.D.Fが使われる

例会案内

三条RC 11月27日例会 卓話 三条ローターアクトクラブ 会長 川勝靖友さん
12月4日例会 卓話

メイクアップをどうぞ

三条南RC 11月25日例会 卓話 白倉修三会員
12月2日例会 総会

三条北RC 11月26日例会 卓話 平松利朗会員

燕RC 11月28日例会 移動例会 於 二木松あだたらRC

加茂RC 11月28日例会 卓話「女性会員シリーズ」

見附RC 11月28日例会 卓話 西川 進会員
